

令和7年度第1回大野城市国民健康保険運営協議会（議事録）

1 日 時 令和7年8月20日（水） 午後3時15分～午後4時30分

2 場 所 大野城市役所 本館4階 全員協議会室

3 出席者等

（1）出席委員 10名

（2）欠席委員 なし

（3）国保年金課職員（事務局）

（4）傍聴者 なし

4 次 第

（1）会長の選任について

公益代表委員の中から渋谷委員が選任された。

（2）職務代行者の選任について

公益代表委員の中から伊藤委員が選任された。

（3）議事録署名委員の指名

会長より森委員が指名された。

（4）議 事

大野城市国民健康保険運営協議会について

事務局から配布資料に基づき順に説明

（運営協議会設置に関する法的根拠、主な審議事項）

主な質疑等 特になし

国民健康保険制度の概要について

事務局から配布資料に基づき順に説明

（医療費負担の仕組み、保険税の賦課・徴収、被保険者の状況）

主な質疑等

委 員 国保世帯における世帯構成の特徴として、65歳以上の高齢世帯が占める割合が高く、そのことで医療費も若い世代よりは多くかかるという構造的な問題を抱えている。その辺も踏まえての保険税率の検討が必要になると考える。

事務局 税率の検討の際にはそういった点も踏まえながら議論を進めていきたい。

令和7年度の制度改正について

事務局から配布資料に基づき順に説明

(税制改正に伴う賦課限度額の引上げ・軽減判定基準額の引上げ)

主な質疑等 特になし

令和6年度決算(案)の概要について

事務局から配布資料に基づき順に説明

(令和6年度の決算(案)内容、決算の推移、国民健康保険税、保険給付費の推移、医療費の推移、一般会計繰入金、繰入金決算額の推移)

主な質疑等

委員 財政安定化支援事業とは県からの繰入金があるのか。

事務局 県が算定し、示された金額を市の一般会計から繰り入れているものである。

委員 国保税の滞納が減少し、徴収率が上がっているが、これは納税課の努力によるものか。

事務局 納税課でも徴収率向上に向けて日々取り組んでおり、その成果と考える。国保年金課では所得が未申告である世帯への申告勧奨等に取り組んでいる。

委員 医療費の削減という内容で、本市では令和6年度に大幅に医療費が下がっているという報告があったが、筑紫地区での状況はどのようになっているか。また、医療費削減のために、必要以上にレセプトの再審査請求を行ったりしていないか。

事務局 筑紫地区における医療費の増減の状況については、確認し、後日改めてご報告させていただきたい。

レセプト点検については、国民健康保険団体連合会からも市町村に対し、適正な審査についての依頼があっており、本市においても不要な再審査請求は行っていない。

委員 年齢によって自己負担割合が異なると思うが、そういったことが医療費全体に影響しているということはあるのか。

事務局 年齢による自己負担割合の変動が令和6年度の医療費の大幅な減少に影響していることはないと思う。

事務局 本市では、令和４年度から健康課が主となって健康診断（特定健診）の受診率向上に本格的に取り組んでいる。

受診率が向上すると、一時的に医療費が上がるが、２、３年後にはその成果が医療費の減少として現れるのではないかと期待をしていた。今回、令和６年度の医療費にその効果が出たのか、確固たるエビデンスは示せないが、そういう要素もあるかもと考えている。

委 員 少し角度が異なるが、市役所窓口での対応について尋ねたい。窓口に来られる住民の方に対し、「お客様」と呼ぶことがあるようだが、地域の公民館等でも来庁者への言葉遣いや対応を改めて考えられればと思うので一度検討していただきたい。

事務局 承知した。

委 員 レセプトの審査員を務めている経験上からの意見だが、令和２年度に新型コロナの影響による受診控えの傾向があり、大幅にレセプトの件数が減少した。その後、令和３年度から５年度にかけて、件数は増加したものの、コロナ前までには戻っていない。

したがって令和３年度から５年度にかけても医療費はそれほど増加していないのではないかという感覚を持っていた。

これは想像だが、新型コロナに対する検査料や投薬に対する公費負担が変わったことも影響しているかもしれない。

事務局 市でも健康課が九州大学と連携し、医療費等の分析事業を行っている。令和６年度の分析結果は令和８年度に報告される予定であり、その結果を受けて、適宜ご報告させていただきたい。

会 長 委員から大変貴重なご意見を頂いた。医療費のことや保険税のことを検討する際には、健康課や納税課で取り組まれている内容も踏まえ、関係課としっかり連携しながら進めて頂きたい。

事務局 承知した。

（３）その他 事務連絡